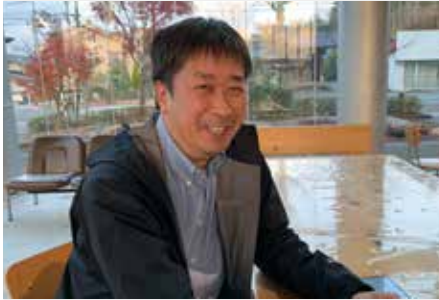


## 卒業生インタビュー



第59代理事長  
**西田 輝之**

西田産業(株)および  
株式会社チューゲイ



### 思い出に残るJC活動を教えてください

2019年、国営備北丘陵公園で広島ブロック大会\*を開催しました。当時私は、ブロック委員長としてこのブロック大会の担当の役目も担っており、大会実行委員長は舩元君でした。大会は舩元実行委員長の想いとこだわりが詰められた、庄原の良さを最大限に盛り込んだ素晴らしいもので終わることができ、舩元実行委員長の男泣きにも感極まりました。

昨年は、飯田実行委員長の右腕として、庄原よいとご祭の事務局長を担いました。コロナ禍明けで開催の判断が難しい状況の中、飯田実行委員長の描く明確な方向性と決断によって3年ぶりに当日を迎えることができましたが、あの時の飯田実行委員長の当日のスピーチにも感極まったことを覚えています。

勿論、自身が実施した様々な事業にも思い入れはありますが、私のJCライフは、このようにどちらかというとか何かを成し遂げるために奮起し励むメンバーの横で力になって、最終的に彼らのストーリーや集大成を近くで見れることに対して感動、やりがいを感じてきたように思います。



感動、記憶に残る庄原ブロック大会でした

\*JCメンバーが集うと共に、フォーラム等の場を通じてJC運動の内容を伝えていく事業

### 庄原JCの理事長の役目とは?

一言で言えば、羅針盤です。大きな方向性を示すことが役目だと思います。ある意味で、年当初の理事長所信が全てを物語ると思います。

なる前は、強いリーダーシップで引っ張っていくようなものを想像していた部分もありましたが、実際になってみると、庄原JCの場合はメンバーそれぞれが高い志と意思を持ち、庄原JCとしてやるべき事を共有できているので、委員長を中心としたメンバーに基本的には委ね、我慢して、理解に努めることの方が重要に感じました。

この一年は、私の考えに松森専務が一番に共感してくれ、役に合い、先んじて動いてくれた部分も多く、私としてはとてもやり易かったです。私の横に、共に卒業する仲間でもある松森専務がいてくれて本当に感謝しています。彼だからこそ、専務兼よいとご祭実行委員長などというアクロバティックなことができたのだと思います。



「庄原よいとご祭」を復活させてくれたスタッフ皆様に感謝します

### 『JC庄原 MAGAZINE LIGHT』を読んでもくださる方にメッセージをお願いします

2023年は、皆さんにとって、どのような一年になったでしょうか?

本年、私たちは「It Gets Better!(未来は、きっと良くなる!)」を旗印に、様々な運動を展開して参りましたが、どの程度、皆さんの目に留まることができたでしょうか? この『JC庄原 MAGAZINE LIGHT』を通じて、私たちの活動や、メンバーの生き生きとした姿が、少しでも伝わっていれば、幸いです。

最後になりますが、本年も多くの関係各所のご支援ご協力のもと様々な事業を行えたことに感謝するとともに、多くの皆様に共感いただける活動を展開できたことに対し、深く御礼申し上げます。そして、次年度以降も『JC庄原 MAGAZINE LIGHT』をよろしく願います!

挑戦や経験を積みたい方大歓迎!!

一般社団法人

入会資格/満20歳以上40歳未満

## 庄原青年会議所 会員募集中



〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 商工会議所内  
MAIL/sjci@mx4.tiki.ne.jp FAX/0824-72-9116



ホームページ



facebook



Instagram



X (旧 Twitter)

## 編集後記

LOM ブランド構築室室長

宮田 正重

私のJCマガジナイト編集担当は今月が最後になります。多くの方にインタビューさせていただき、新しい出会いもたくさんありました。聞いたままを書くのではなく、どうすれば興味を持って読んでもらえるかを考える学びもありました。JCマガジナイト作成にご協力いただいた皆様、読んでいただいた皆様に感謝申し上げます。引き続き庄原JCのご支援を宜しく願います。

『LIGHT』には、「まだ見えない光を求めて限界突破」の「光」と「JCI会員にもスポットライトが当たるように」の2つの意味が込められています。



01

2023年度 11月度事業 「身土不二～食の宝庫庄原の魅力～」

担当/BS推進委員会 委員長/坪田 朋人

12月3日、庄原自治振興センター多目的ホールにて平山友美さんを講師にお招きし、「身土不二～食の宝庫庄原の魅力～」を開催しました。

本事業は地元産品の魅力に気づくこと、発信の手法を学び、そして活動するまで結びつけることを目的とした事業です。「記憶に残る郷土料理」を題材にグループワークを行い、幅広い年齢層との対話の中で私たちが知らなかった庄原の

郷土料理や地域の魅力ある産品(地域の価値)について再認識することができました。

その次のステップとして庄原市民以外に対してその魅せ方についてご講演いただきました。行動することが第一歩であり、庄原JCとしてその行動のきっかけをこの事業で結びつけることができましたと感じています。我々もですがご参加いただいた皆様の今後の活動を楽しみにしております。



平山友美講師による講演



グループワークにより新しい発見・知識を得ることができました

02

備後庄原駅100周年記念「アートコンクール」表彰式開催



入選者の表彰式を開催しました

12月9日、備後庄原駅周辺で「第23回庄原駅前フェスタ」が開催される中、当青年会議所は、備後庄原駅100周年記念の関連事業として企画した「アートコンクール」の入賞者の表彰式を行いました。

7月末より作品の募集を行ったところ、備後庄原駅に関連した平面アート作品136点が庄原市内・市外だけでなく県外からも広くご応募いただきました。それらの作品をのぼりにプリントし、10月末から駅周辺や市内各所に設置させてもらうことで賑わいを創出するとともに、のぼり(または配布されたチラシ)に記載のQRコードを通して、一般の方に投票していただきました。数々の素晴らしい作品をご応募いただいた参加者の方々、ならびに投票に参加いただいた皆様に、深く感謝を申し上げます。

また、イベント終了後に当青年会議所は備後庄原駅100周年に感謝の意を込めて駅周辺の清掃活動を行いました。備後庄原駅がこの先200年、300年続くことを願っております。



ご応募いただいたアート作品136点の中から選ばれた5点



各アート作品をのぼりとして掲げました



駅周辺のごみ拾いを行いました